



平成21年2月3日（火曜日）

北檜岡地区の歩道現地合同点検を行いました

～冬期間も安心・安全な歩行空間の確保を目指します～

平成21年1月22日（木）、大仙市北檜岡地内において、地域代表者、学校関係者、交通安全協会関係者9名と歩道の現場点検及び現場の問題点について意見交換を行いました。

当該区間の歩道は北神小学校、平和中学校の通学路となっておりますが、歩道の横断勾配が急で、特に冬期間は高齢者及び児童生徒が転倒するなど危険な状態となっております。

以前から、地域及び大仙市から歩道改良の要望が出されており、早急な対応が望まれています。こうしたことから、歩道改良に着手するために歩道を利用している地域の方々と現場点検を行って意見を聞き、歩道改良計画に反映していくものです。

今後は、歩道の横断勾配を緩く改良し、融雪側溝を整備して冬期間も安心・安全な歩行空間の確保を目指します。



☆ 歩道現場点検の様子 ☆

北檜岡地区 歩道現地合同点検・意見交換会 出席者	
上町町内会会長	田中 喜一郎
中町町内会会長	鈴木 三男
下町町内会会長	鈴木 惣一
ボランティアサポート事務局	斉藤 憲治
北神小学校 校長	山崎 敏
平和中学校 校長（代理、教頭）	佐藤 晋
大仙警察署地域課神宮寺警察官駐在所長	佐藤 克己
大仙地区交通安全協会北檜岡支部長	高橋 茂治
オブザーバー（地域代表者）	竹原 弘治

事務局：湯沢河川国道事務所 大曲国道維持出張所 大仙市役所神岡総合支所建設課

意見交換 主なやりとり

Q1 : 現場で歩道の勾配はきつく8%とか9%と聞いたが、歩道の標準勾配は何%か。
また、何%に改良するのか。

A1 : 歩道の標準勾配は2%です。歩道改良は、この2%で行います。

Q2 : 現在より勾配が緩くなると、民地との境が段差になるのでは？

A2 : 各入り口部は、民地内で、すり付けを考慮するので段差は生じないようにします。

Q3 : 国道を横断している暗渠に泥やゴミが詰まっていて、夏場大変臭い。清掃はしているようだが、一層の改善を望む。

A3 : 工事実施時に調査して対応します。

Q4 : 投雪時グレーチングの側溝蓋を開けた時に誤って側溝に転落しないようにしてほしい。

工事期間中に北神小学校の通学経路を変えることも考えなければと思っている。

また、工事期間中の安全対策をしっかり行ってほしい。

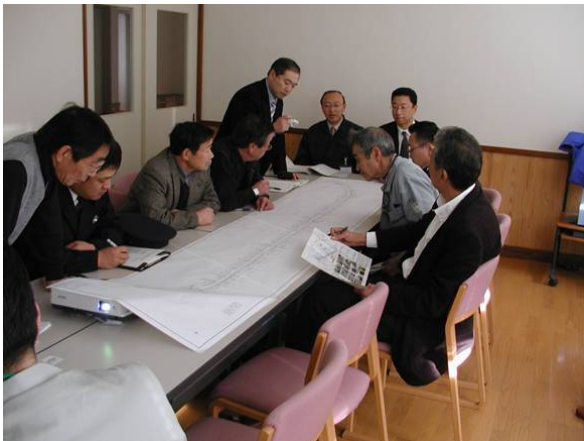
A4 : グレーチング蓋の下には人が誤って転倒したときに、側溝に落ちないように網を付けます。

また、工事期間は安全に気を配っています。

Q5 : 工事はいつから着手するのか。

A5 : 平成21年度から工事着手予定です。

意見 : 歩道を歩いてみて、勾配がきつく歩きづらく感じた。
歩道を改良してもらえるのであればありがたい。



☆貴重なご意見・ご質問をいただきました☆